

IGF2023報告

~いち参加者の視点から~

小林茉莉子

自己紹介

小林茉莉子 (ao)

- WIDEプロジェクト ボードメンバー、ISOC 日本支部 Vice Chair
- ステークホルダーグループ: 技術コミュニティ、市民社会(アカデミア、ユーザー)、若者
- IGF初参加は2018@Paris、その後2019@Berlin、APrIGF2018、2019に現地参加



IGF2023概要

- 日程: 10/8～10/12
- 会場: 国際京都会館
- メインテーマ: “The Internet We Want - Empowering All People”
- サブテーマ:
 - AI & Emerging Technologies
 - Avoiding Internet Fragmentation
 - Cybersecurity, Cybercrime & Online Safety
 - Data Governance & Trust
 - Digital Divides & Inclusion
 - Global Digital Governance & Cooperation
 - Human Rights & Freedoms
 - Sustainability & Environment



数字で見るIGF2023①

- 登録者数: 9729人超
 - オンサイト 6279人(178カ国)
 - オンライン 3000人超
- リモートハブの数: 35
- 会期中のセッション数: 355
- IGFトラック数: 7
- IGFヴィレッジ ブース数: 76(組織、企業、団体)



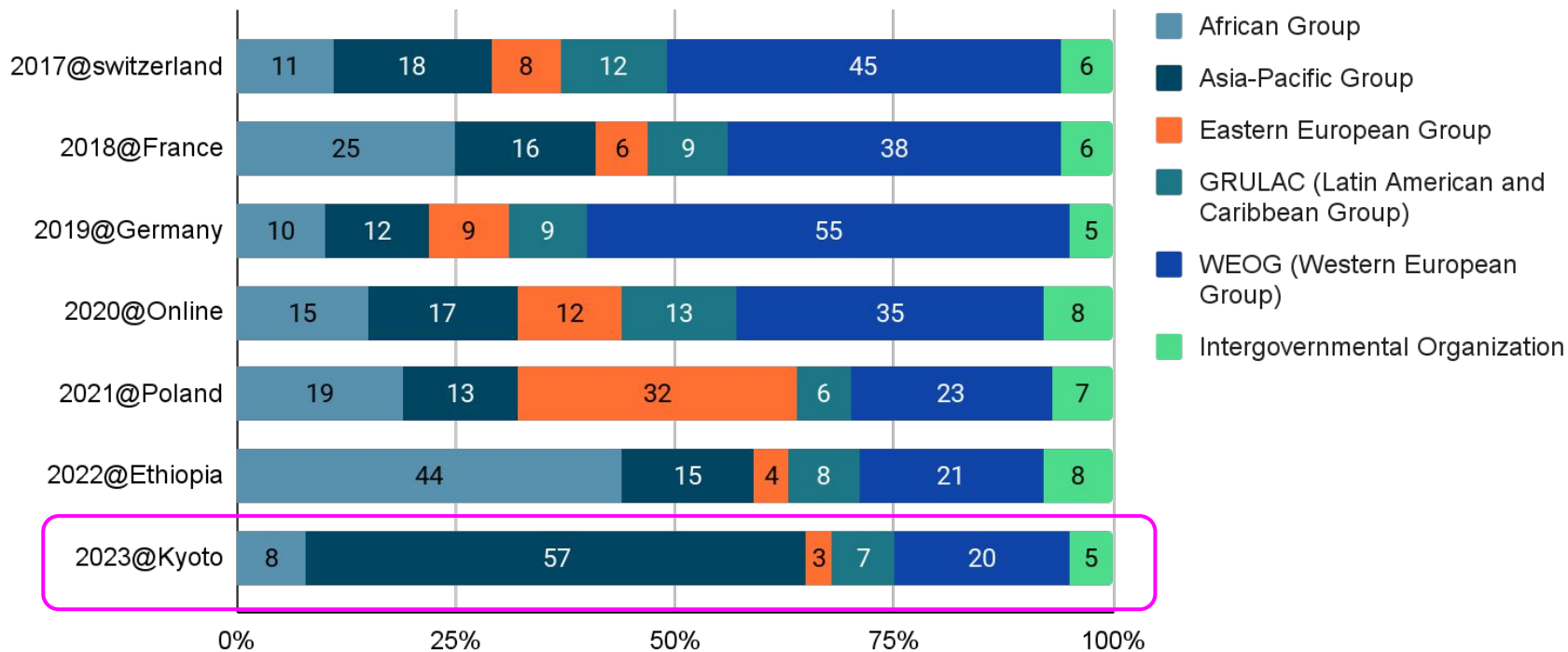
今年のIGFレポートのドラフト:

https://www.intgovforum.org/en/filedepot_download/300/26575

ブース情報: https://www.soumu.go.jp/igfkyoto2023/dl/IGF%20Kyoto%202023_Exhibitor%20list.pdf

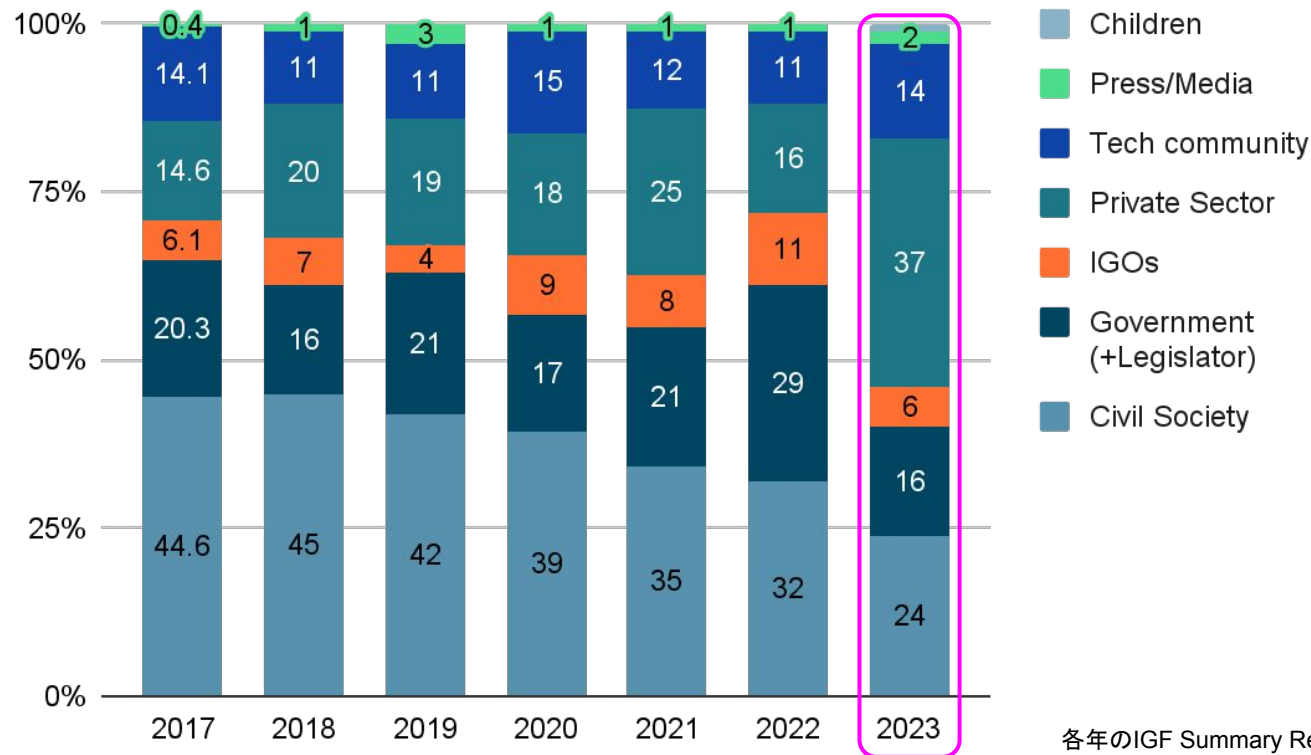
数字で見るIGF2023②

IGF Participants by Regional Group



数字で見るIGF2023③

Shift in Percentage of Participants by Stakeholder



各年のIGF Summary Reportの参考に算出

IGF2023 ミーティング全体概要

Day0	Day1	Day2	Day3	Day4
ハイレベル向けセッション、ユースサミット、シンポジウム etc.	開会式、議員向けラウンドテーブル、ハイレベルセッション、各種セッション (WS, OF, NW, LT etc.)	メインセッション、各種セッション (WS, OF, NW, LT etc.)	メインセッション、各種セッション (WS, OF, NW, LT etc.)	各種セッション (WS, OF, NW, LT etc.)、オープンマイク、閉会式
Reception	Music Night	Social Events	Social Events	Social Events

開会式

- 国連:

- IGFを通してmandateを達成したか
- SDGsを達成するためにどのような役割を果たしているか
- Global Digital Compactへ向けた準備ができているか

- 政府(岸田総理):

- IGFのオープン・民主的・包摂的なプロセスを重視する姿勢は日本の価値観と一致する
- インターネットは民主主義社会の基盤として重要
- 一方でインターネットが課題を産んできたことも事実
- 負の側面に目を背けることなく、IGFの様々な参加者の叡智を結集させることでリスクを軽減しつつインターネットの恩恵を最大化できる
- オープン・グローバル・相互運用可能、安全かつ信頼できるインターネット



ハイレベルリーダーセッション:生成AIの課題について

- 政府・政府間組織:
 - リスクを軽減し、人類への恩恵を最大化していく必要がある
 - そのためには様々なステークホルダーの参画が不可欠
 - 国際的な貢献、社会への貢献などインセンティブを組み合わせることが重要
- 技術コミュニティ・民間・市民社会(アカデミア)
 - 情報のソースが信頼できるかどうか、IDと情報ソースを追跡するための技術がある(OP)
 - AIに限った話ではなくソフトウェア開発全体でとらえるべき
 - 学習元のソースがどのように応用されたか知る必要がある。リスクレベルに基づいて分離することは効果的。
 - 技術はオープンイノベーション、オープンソースであるべき。オープンなプロセスを望む。
 - AIには素晴らしいツールとしての側面もある(Facebook上のヘイトスピーチを18ヶ月で6割取り除いた)

ソーシャル&おもてなし@IGF2023



Reception



Music Night



ISOC@IGF2023



Youth Social



IGF Villedge



日本文化体験
(呈茶、着物)

オープンマイクの議論(一部)

- 特定の参加者層が十分ではなかったのではないかと
 - 技術の専門家がいるセッションが少なかった、技術者の声をもっと聞きたい
 - 障がいをもった方の参加が十分でなかった
- AIのセッションがあること自体は良いことだが、インターネットガバナンスの要素を入れた議論をしてほしい
- 各ステークホルダーからの宣言はあったが、その先の解決策の共有が十分ではなかったのではないかと
- 2025年(今のIGF mandate期限)から先に向けた議論が十分ではなかった
- 来年の開催国(リヤド@サウジアラビア)への懸念

いち参加者としての所感

- インターネットインフラの運用・研究に関わるコミュニティ所属の者としては、今年はAIのセッションが多く感じた
 - AI以外のサブテーマのセッションでも生成AIやフェイクニュースの話題が頻出
- インターネットの基盤技術やインターネットガバナンスそのものの議論をもっとしたいと感じた
- 一方で、AIのようなEmerging Techを取り上げることで、IGFに新たな層を取り込むことが可能ということも理解した
→IGFのプレゼンス向上及びIGFの包摂性に繋がる
- IGFのようなマルチステークホルダーのフォーラムが2025年以降も存続するのか、どのような形で行われるべきかの議論がされていないように感じた
- 国連からは、mandateの目的達成、SDGsやGDCとの関連、IGFでの議論をステークホルダー間で具体的な行動へ移すことが強く期待されていると感じた

最後に

- IGF2023のアウトプットはここにまとまっている
<https://www.intgovforum.org/en/content/igf-2023-outputs>
- YouTubeで各種セッションの録画が見れます(メインの部屋で開催されたセッションは日本語通訳あり)
<https://www.youtube.com/@igf>



清水寺住職の方による「絆」@閉会式にて